

松ヶ原神楽団について教えてください。

昭和35年より途絶えていた松ヶ原神楽を、松ヶ原にいた私たちがまだ若い時に結集し、諸先輩方のご協力をいただき、昭和46年に復活させました。現在、団員は13名です。

松ヶ原神楽団の特徴は？

松ヶ原神楽は、明治初期に十二神祇（友繁舞）として伝わったとされている六調子神楽です。六調子神楽は緩やかな儀式舞が多く、各地で盛んな新舞である八調子とは異なります。

現在、六調子神楽を舞う神楽団は少なくなりつつありますが、松ヶ原神楽団は、伝統を守ろうと、この六調子神楽を継承し、現在は、松ヶ原の祭りの時のほか地域のイベントなどで上演しています。

十八番の演目は？

全部なんです、うちの神楽団が得意なのは、「三刀（さんとう）」、「五郎王子（ごろうおうじ）」、「柴鬼神（しばきしん）」です。



将来についてのお考えは？

新しく入団される方は時々おられますが、なかなか続きません。我々が若い時は盆を過ぎたら毎晩毎晩、先生に習っていました。好きだからできたのでしょうね。今は、一人欠けても大変な状況です。一度、我々が辞めてしまった方がいいのではと皆で話す時もあります。後に「やっぱりよかったなあ」と、若者にまた立ち上げてもらい、その時我々が教えていければ、継承していけるかなと、これも継承のかなと思っています。

最後に一言お願いします。

今は、祭り前なので、毎日皆で集まり、楽しみながら練習しています。

松ヶ原神楽を継承していくため、これからもご理解、ご協力をよろしく願います。



松ヶ原大歳神社にて



あ
と
が
き

議会では、議会と議員が市民と接する回路を出来るだけ多く設定し、市民の生の声に直接耳を傾ける場に身を置き、市民と意見を交換することが必要であるとの思いより、来年2月に議会報告会の開催を予定しております。

11月には、総務文教・生活環境委員会として、本市のこれからの行政課題に取り組みにあたり調査研究・研鑽の目的を持って、先進地事例調査研究に赴きます。

議員がかかわらなければならぬ政策領域は幅広いですが、先進市で見聞・得た知識などを議員同士が討議、補完しあうことにより、議員力・議会力として身に付け、政策提言、議会審議の推進力としたいものです。

議会改革を着実に進めています。市民の方からの議員定数・報酬削減を求める声は根強く、選挙における投票率も低落傾向にあります。議員数は昭和30年の30人から16人へと大幅に減り、一人ひとりの議員の資質向上、議会力の向上、そして市民の皆様からの信頼獲得が不可欠な時代となつていきます。議員力、議会力を磨き、市民の皆様にご協力の存在感を再認識してもらうための努力を惜しむことはできません。



広報広聴特別委員

委員長
副委員長

乃美晴一
網谷芳孝
藤井馨
児玉朋也
北林隆
山崎年一
細川雅子